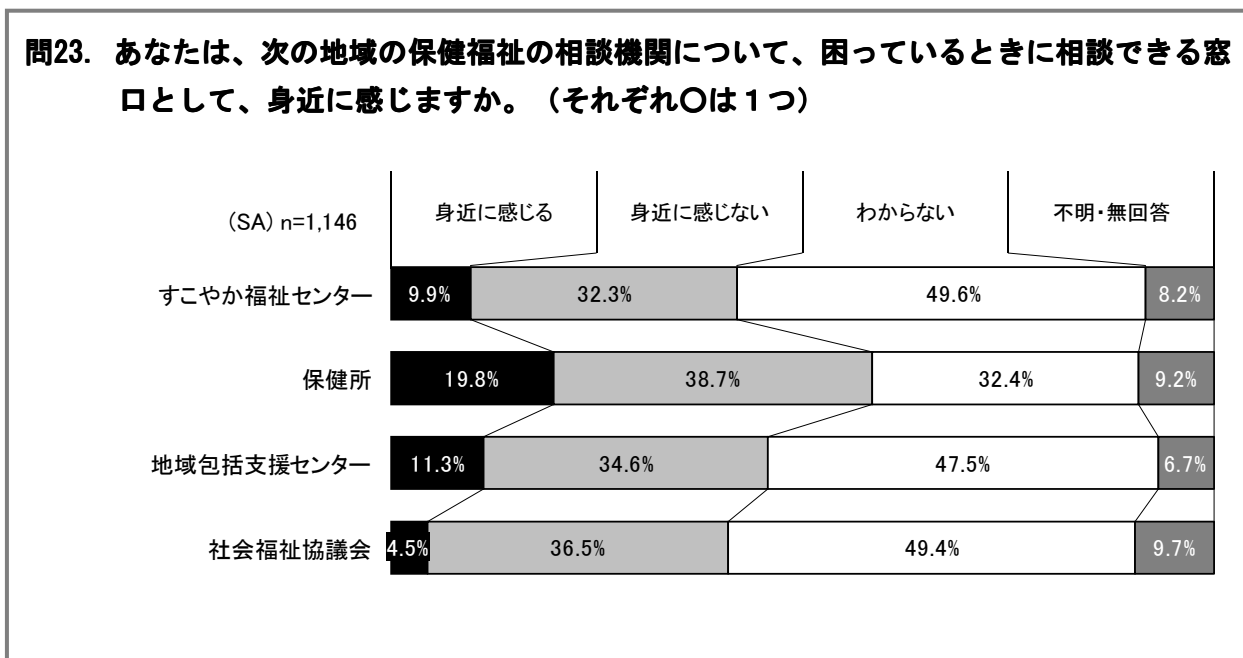


4 保健福祉の相談窓口について

(1) 身近に感じる保健福祉の相談窓口

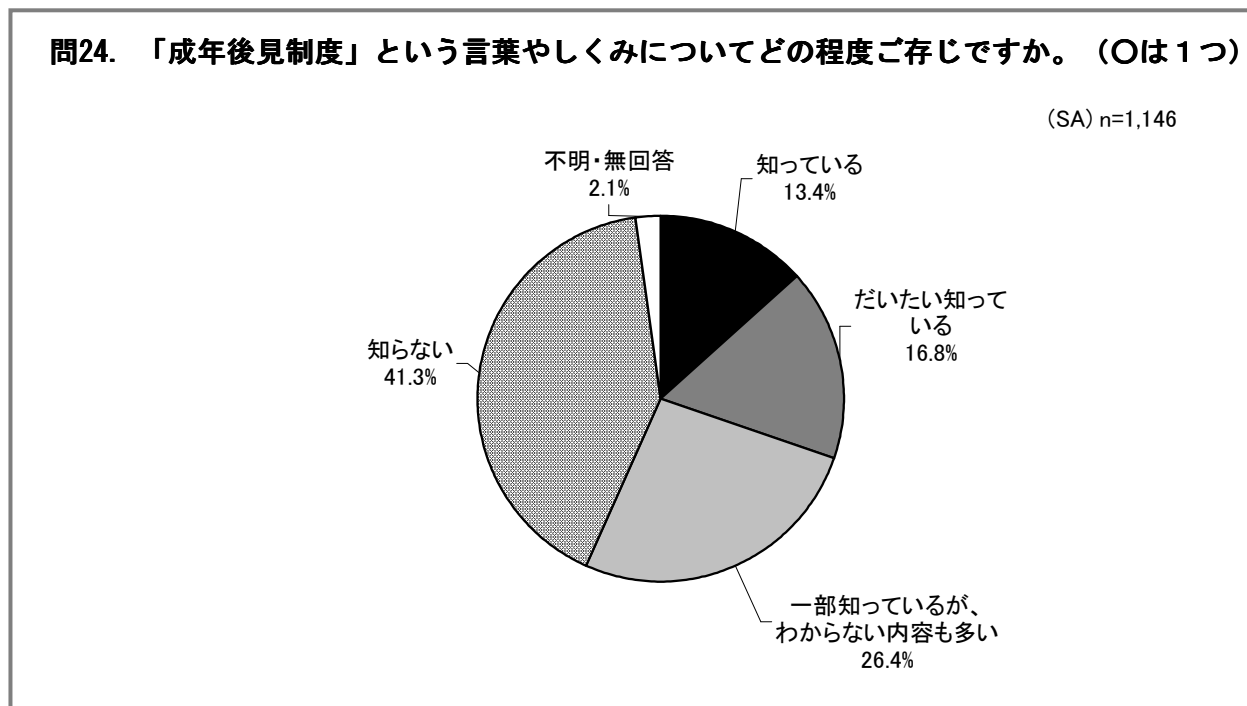
◆身近に感じるのは「保健所」が2割弱。



○困っている時に相談できる窓口として、「身近に感じる」ものは、『保健所』（19.8%）が最も多く2割弱で、「身近に感じない」もので最も多いのも『保健所』（38.7%）である。『社会福祉協議会』は4.5%、『すこやか福祉センター』『地域包括支援センター』はいずれも「身近に感じる」は1割前後、「身近に感じない」は3割を超え、「わからない」が約半数である。

(2) 成年後見制度の認識

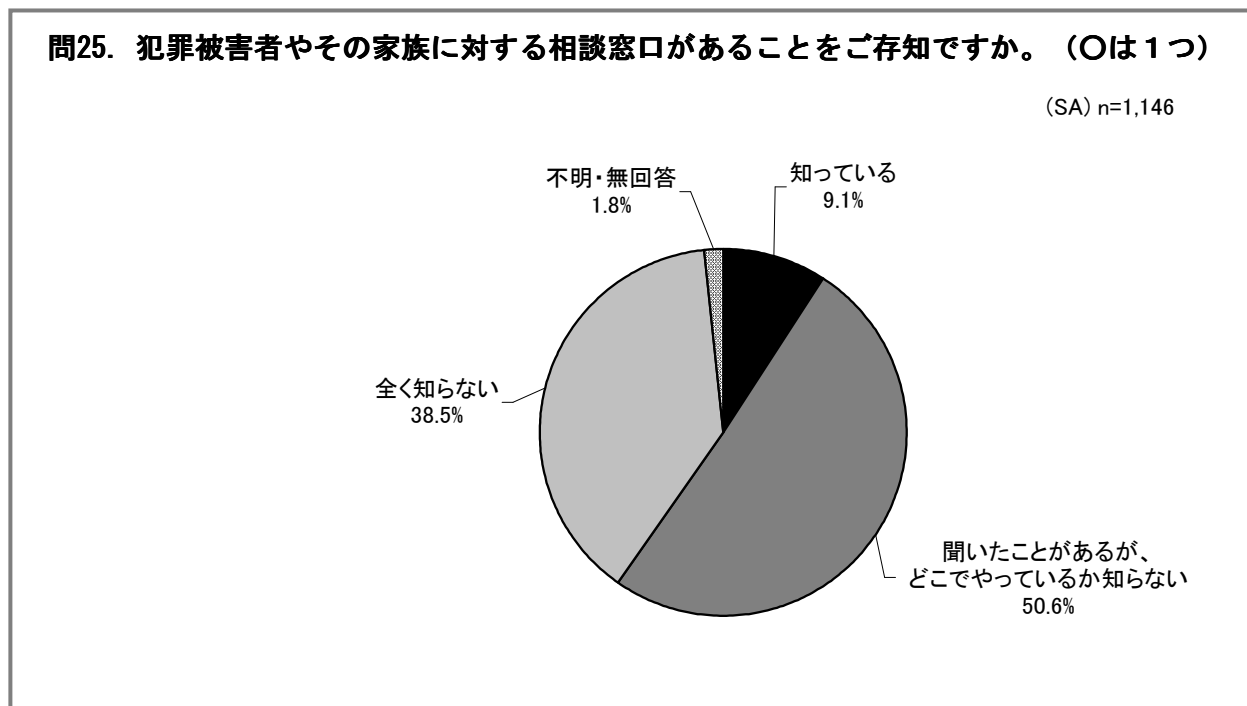
◆『知っている』が約3割、「知らない」が4割強。



○「成年後見制度」という言葉やしぐみについて、「知らない」(41.3%)が最も多く4割強である。「知っている」(13.4%)と「だいたい知っている」(16.8%)を合わせた『知っている』は約3割である。

(3) 犯罪被害者に対する相談窓口の認識

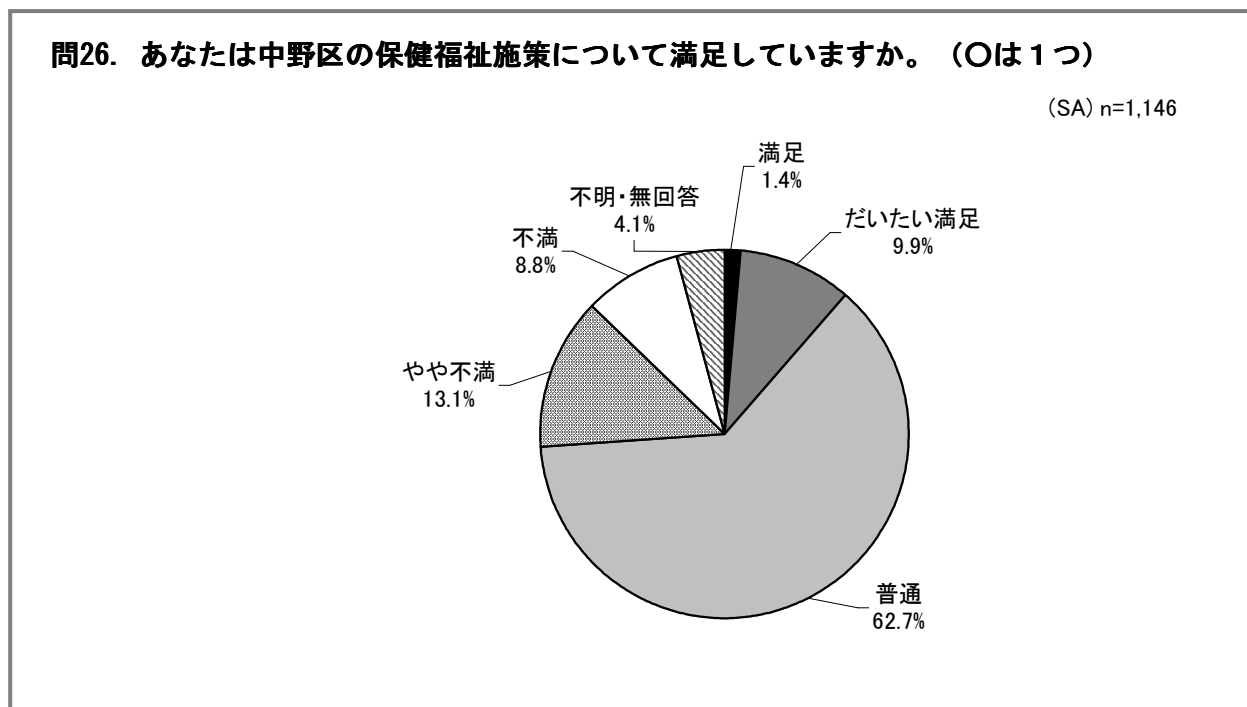
◆「知っている」は約1割弱。



○犯罪被害者やその家族に対する相談窓口について、「聞いたことがあるが、どこでやっているか知らない」(50.6%)は約5割で、「全く知らない」(38.5%)が4割弱、「知っている」は9.1%である。

(4) 区の保健福祉施策の満足度

◆『満足』は約1割、『不満』は2割強。



〇区の保健福祉施策について満足しているかたずねたところ、「普通」(62.7%)が6割強で最も多く、次の「やや不満」(13.1%)と「不満」(8.8%)を合わせた『不満』は2割を超える。「だいたい満足」(9.9%)と「満足」(1.4%)を合わせた『満足』は1割強である。